

NISHINOMIYA EBISU

# 西宮 えびす



夏えびす

令和五年夏号

4年ぶりに通常開催！  
縁日屋台も出店

夏の十日えびす

# 夏えびす

一月の十日えびすからちよつど半年後に当たる七月十日は、境内末社「沖恵美酒神社」(通称・あらえびす神社)の例祭日です。

この沖恵美酒神社は、元々当社の南に位置する荒戎町に祀られていましたが、明治五年に境内に遷されました。本殿のえびすさまの和御魂にぎみたまに対し、力強く行動的な荒御魂あらみたまを祀る神社です。

七月の「夏えびす」はこの日を中心に様々な神事・行事を執り行います。

ここ数年はコロナ禍で規模を縮小しての開催でしたが、今年は四年ぶりに通常開催致します。あらえびすさまの力強いご加護を受けられますよう、皆様のご参拝をお待ちしております。

煌めく夏の風物詩！

七夕天の川 於：神池

▼七月七日(金)十八時～

夕刻より拝殿前神池にLEDライトの天の川が浮かび上がります。

また短冊に願いを書いて参道の笹竹に結びましょう。(神池の天の川は、十日・二十日の夕刻にも実施します)

午後六時～午後九時 神池・天の川 ※雨天中止

夏えびす行事 ▼日程





### 風鈴市 於：参道

▼七月七日(金)～十日(月)、  
二十日(木)

午前十時～午後五時

えびすさまをデザインした  
涼しさ誘うえびす風鈴を中  
心に様々な風鈴が販売され  
ます。  
※雨天中止



### 境内末社 沖恵美酒神社祭

▼七月十日(月)午前十二時 於：沖恵美酒神社

えびすさまの荒御魂をお祀りする沖恵美酒神  
社(通称・あらえびす神社)の例祭です。

祭典後から午後五時まで沖恵美酒神社特設  
授与所にて、あらえびす必勝守(五〇〇円)を授  
与します。また拝  
殿にえびす像を  
奉安し、特別に拝  
することが出来  
ます。



神池  
天の川  
実施!



### 奉納子ども相撲大会

於：本殿西広場

▼七月九日(日)

午前九時～(幼稚園・保育園の部)  
午後〇時四十五分～(小学生の部)

あらえびすさまの力強さを戴いて、  
子ども達が元気に健やかに成長するよ  
うに願います。

※詳細・お申込みについては裏表紙を  
ご覧下さい。  
※雨天中止



### あらえびす夜まつり (エビスビールフェスタ)

於：松林特設会場

▼七月九日(日)、十日(月)

午後四時～午後九時

沖恵美酒神社祭の前夜と当夜に  
境内の松林を中心に開催されます。  
当社と縁深いエビスビールの飲み比  
べが行われます。また地元・門前町の  
飲食店の協力により、境内にご当地  
グルメが大集合します。 ※雨天中止





**夏祭** 於：本拜殿  
 ▼七月二十日(木)午前十時

暑気払い、  
 無病息災を願  
 い夏祭を斎行  
 します。  
 祭典後、拜  
 殿前で湯立神  
 樂が行われ、  
 巫女が笹で湯しぶきを振り  
 まいて、参拝者の災厄を払い  
 ます。

神池  
 天の川  
 実施！  
**えびす萬燈籠** まんとろう  
 於：境内

▼七月二十日(木)午後六時  
 午後六時より本殿にて萬  
 燈籠祭を斎行します。引き  
 続き点灯式が行われ、境内  
 三百三十基の石燈籠と約  
 五千個のカップろうそくに  
 御神火が灯され、光の列  
 を創ります。境内は幻想的  
 な雰囲気になります。

また午後七時三十分・午  
 後八時三十分の二回境内松  
 林で、女人舞楽原笙会によ  
 る舞楽も奉奏されます。  
 ※雨天中止

**夏の風物詩！**

『夏えびす限定授与品』

夏えびす限定授  
 与品として授与所  
 におきまして「夏えびすうちわ」「えび  
 す風鈴」「鯛風鈴」を授与しています。  
 是非ともお求め下さい。

授与期間：六月一日～八月三十一日まで

夏えびすうちわ  
 初穂料：二〇〇円  
 えびすさまが大きな鯛を抱えた何とも  
 微笑ましく幸せそうなデザインです。

鯛風鈴(出右焼)  
 初穂料：一、五〇〇円

えびす風鈴  
 初穂料：一、〇〇〇円

夏の風物詩でもある風鈴は、涼しげな音色を  
 響かすとともに、厄除けとしても用いられ、音  
 には邪気を払う力があるといわれています。



境外末社住吉神社夏祭 於：住吉神社 ▼七月三十一日(月)午前十時

●午前十時半 **子ども舟だんじり巡行**  
 ●午後四時～午後七時半 **縁日屋台**

境外末社住吉神社は、西宮  
 神社から一キロメートルほど南  
 の西波止町の海岸近くに鎮座  
 しています。  
 夏祭の後、地域の子もたち  
 が舟形のだんじりを曳いて住  
 吉神社周辺を巡行します。  
 夕刻からは境内に縁日屋台  
 が開かれ、大勢の参拝者で賑わ  
 います。  
 ※雨天中止

# 「大練塀と版築工法展」

令和五年四月一日(土)～六月二十九日(木)  
開館時間：午前九時～午後四時

社務所一階えびす信仰資料展示室におきまして  
「大練塀と版築工法展」を開催しております。

「大練塀」は当社境内地の東面と南面に築かれている練土のみで作られた総全長二四七メートルの塀です。国の重要文化財にも指定されている「大練塀」は劣化が進んでい  
た為、令和元年から修復工事を進め、令和三年十二月に工事が完了しました。  
今回の展示では、大練塀の建築技法でもある版築工法について、新たに製作した

大練塀 600年の歴史を紐解く 版築工法とは!?

えびす信仰資料展示室 第41回企画展  
国の重要文化財

圧倒的スケール。

日本最大 版築工法体験  
昭和25年の大修理  
版築工法完全再現模型展示

現存最古の築地塀  
大練塀と版築工法展  
当社境内を囲う「大練塀(おおねりべい)」の歴史と版築工法を昔の写真や版築工法模型を用いて紹介します。

日本三大練塀  
総全長 247m  
大練塀が出来上がるまで...

令和5年4月1日-6月29日まで  
西宮神社 社務所1階えびす信仰資料展示室  
開館時間：9:00～16:00 休館日：なし

館料 入無

版築工法模型を用いて解説、また写真パネルで過去と現在の大練塀の様子を紹介しています。  
版築工法の体験コーナーなどもございますので、是非大練塀と版築について肌で感じて下さい。

## 次回展示企画 第42回企画展

令和5年7月1日(土)～9月29日(金)  
開館時間：午前9時～午後4時

### —西宮は傀儡師のふるさと—

### 人形劇の図書館コレクション展 第5弾



宮橋彦「傀儡師一九五〇年代」掛軸 日本画



歌川豊國「繪見立七郎久壽老安政三年二八五〇」浮世絵



「勇秀国芳がな読み八伝十篇」嘉永四年(八五〇)草双紙

# 『くぐつ 傀儡博覧会』

人形劇・人形芝居は観客席で楽しむだけでなく、こんな楽しみ方もあるのかと興味をひろげてもらえればさいわいです。

今回の人形劇の図書館コレクション展は、その「傀儡」をテーマにして、傀儡に関わる、御神影、人形、浮世絵、掛軸、漫画など、さまざまに描かれた傀儡の数々を紹介する『傀儡博覧会』なのです。

傀儡(くぐつ・かいらいし)、傀儡子(くぐつ・かいらいし)、傀儡師(くぐつ・かいらいし)と、いくつもの微妙に違う使い方をする言葉で、どれも、端的にいえば「傀儡」は人形であり「あやつり」で、さらに西宮神社には百太夫社という傀儡師(人形遣い)の祖神ともいえる末社もあり、つまりは人形芝居となる以前の「人形まわし」が「傀儡」であり、それが浄瑠璃という語りを得て「人形浄瑠璃」という人形芝居へ発展していくのです。

# 大練塀の歩み



## 災害と大練塀について



大練塀水害時(昭和10年 浅田柳一氏 資料)

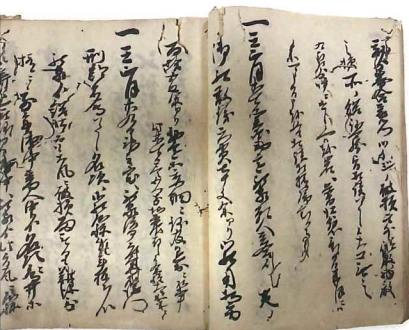
## 大練塀とは？

「大練塀」は、「築地塀」ともいいます。土を突き固めて作られた塀のことです。この技法を「版築」といいます。もとは中国の乾燥地帯によく見られた建築技法で、古墳時代には日本にも伝わってきたようです。

大練塀の築造年代は、室町時代中期と推定されています。昭和二十五年の修理の際、中国の元の時代の貨幣八枚が大練塀から発見され、その中で最も新しい貨幣が

繕ってきた記録が残されています。

西宮神社神主が元禄七年(二六九四)から書き綴ってきた「社務日誌」には、大練塀が洪水・台風・倒木・地震など事あるごとに被災・修繕



宝永5年間1月21日の社務日誌

他にも神主が大練塀の修繕費用の工面に奔走する記録も残されています。享保三年(一七二八)十月十四日条に木仏の売却費を大練塀修理費用にあてる旨を大阪町奉行所に願い出す事が書かれています。

また宝暦二年(一七五二)四月二日条には、延享元年(一七四四)八月に起きた大風により、社殿や大練塀に甚大な被害をもたらしたため、何年にもわたり修理できていなかったため、神主は富くじ(現代の宝くじ)を企画し、尼崎藩に願い出たことが書かれています。一口十二銭で、当選者にはえびす神像の掛け軸や鯛一匹を贈呈するとのおアイデアでしたが、許可されなかつたようです。

そして昭和二十年八月五日には西宮市の六割以上が焼き尽くされてしまった西宮大空襲により、境内には多数の焼夷弾が落とされ大練塀の屋根が一部消失してしまいました。幸いにも神職と軍隊砲部隊によつて延焼は防がれ、大練塀は焼失を免れました。その後、放置すると全壊の恐れがある為、市民の支援で応急修理、昭和二十五年に本格的な修理が行われました。



←平成8年震災復旧工事



震災により全壊した大練塀



また平成七年阪神・淡路大震災の際には、大練塀の至る所に亀裂が入り、表大門より北側の練塀は大半が崩れ落ちてしまいました。その年の八月から修繕工事をを行い、表大門から北側については一から突き直され、翌平成八年十二月に復旧しました。

直近では令和三年に阪神・淡路大震災の後、復旧工事した練塀の下部が剥落



令和3年修繕工事前



洪武通宝(一三六八〜九八に流通)で、室町時代に元から輸入され、日

本国内で広く流通していた貨幣です。この貨幣と室町時代に制作さ

れたと思われる瓦片が壁土中から発見されたことにより、室町時代

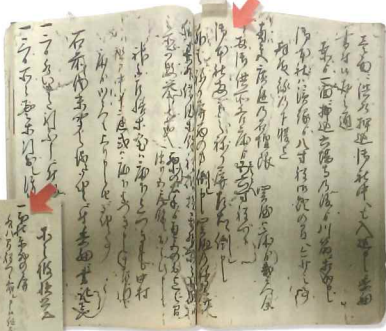
中期の築造と言われています。

そして室町時代中期頃から現在までの約六百五十年間、自然災害や戦災の被害を受けながらも定期的に修繕を行い、現在にその姿を残しています。



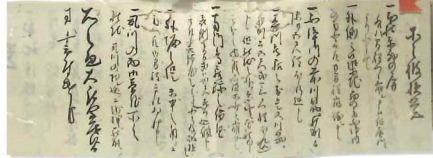
現在境内の東面・南面に築かれている総延長二百四十七メートルの大練塀は、京都市蓮華王院(三十三間堂)の太閤塀と名古屋市熱田神宮の信長塀とあわせて日本三大練塀と称されています。その中でも最古、最大規模であり、昭和十三年に国宝に指定され、昭和二十五年に国の重要文化財に指定替えされています。

社務日誌における大練塀についての初見は宝永五年(一七〇八)閏一月二十一日条で、神主など神社関係者が集まり、大練塀の修理について相談していたことが書かれています。



←元文5年閏7月1日の社務日誌

また元文五年(一七四〇)閏七月一日条には、七月二十九日からの大雨は終夜降り止まず、武庫川の土手を切り崩して大洪水となり、その水は当社にも押し寄せ、境内外に前代未聞の被害をもたらし、特に大練塀は二十間(約三十六メートル)にわたって倒壊したことが書かれています。



大空襲あと昭和25年工事前の大練塀南面東部

けて修繕工事をするなど、現在も定期的に修繕を行っており、文化財を後世に残すために務めています。



令和3年修繕工事後

重要文化財保全工事記念事業

「版築工法模型製作」



お立ち寄りの際は是非ご覧下さい。

わけて作業内容について説明したパネルも準備しており、匠の技を感じられる内容となっています。

版築工法を五つの場面に分けて作業工程を再現し、あ

致しました。

令和元年〜三年度までの三カ年をかけて、国の重要文化財に指定されております表大門・大練塀の保全工事を行いました。令和三年十二月に大練塀保全工事が竣工されたことを記念して、「版築工法模型」を製作

# 「令和の本殿御屋根葺替事業」 ご奉賛のお願い



昭和二十年大東亜戦争の戦禍により、四代將軍徳川家綱公によりご造営された本殿は烏有に帰してしまいましたが、氏子崇敬者の熱意と浄財によって、昭和三十六年に旧国宝の姿のままに復興されました。



昭和36年本殿竣工

現在の本殿は復興より六十年余りが経過し、銅板葺き替えの時期にあたり、折しも来る令和七年には西宮市制百年の節目の年を迎えます。

つきましては、本殿・拝殿銅板葺き替え工事・西宮市制百年奉告祭を中心とする各種奉賛事業を計画しておりますので、皆様の格別なるご協力ご支援を宜しくお願い申し上げます。

## 事業概要

- ① 本殿・拝殿銅板葺き替え工事(令和六年一月二十日～十一月末予定)
- ② 西宮市制百年奉告祭(令和七年四月一日)
- ③ 境内整備・設備改修工事(駐車場公衆トイレ・神池参道・飾り樽舎改修など)
- ④ 全国「西宮」調査記念冊子刊行



完了した神池参道補修

## 事業奉賛申込について

- 郵便振替** ご希望の方は振込用紙を送付致しますので、社務所までご連絡下さい。
- 現金書留** 奉賛申込書に必要事項を記入・同封の上、社務所宛にお送り下さい。
- 社頭受付** ご参拝の折に社務所受付にてお受け致します。

**銀行振込** 奉賛申込書に必要事項を記入の上、当社に郵送・FAXして頂いた後に下記銀行口座へお振込み下さい。

振込先 三菱UFJ銀行 西宮支店(店番479)普通口座  
口座番号 3036626 宗教法人西宮神社

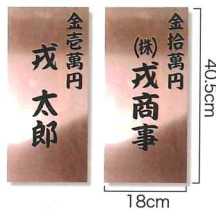
※奉賛申込書は当社公式HPからダウンロード出来ます。

## ご奉賛待遇について

	ご芳名 永年保存	御守	全国西宮 調査報告書	記念品	式典招待	感謝状	招福 記念品	特別 記念品
5000円以上	○	○	○					
1万円以上	○	○	○	○				
10万円以上	○	○	○	○	○	○		
50万円以上	○	○	○			○	○	
100万円以上	○	○	○			○		○

## 貴殿のお名前をえびすさまの 本殿の御屋根にお上げ致します

本殿御屋根葺替事業に5000円以上ご奉賛頂いた方には、銅板に奉賛金額とお名前(会社名)を代筆し、本拝殿の御屋根に使用させていただきます。



## 銅板奉賛のお願い

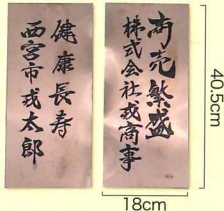
銅板奉賛(銅板にお名前・祈願名などご自身でご記入)をご希望の方は、直接来社してお申込み下さい。

奉賛金額 銅板1枚 **3,000円**(縦40.5cm、横18cm)

- 銅板には祈願名・名前・住所などを自由に記入していただけます。
- ご奉賛頂いた銅板は本拝殿の御屋根に使用致します。
- ご奉賛の方には、えびすの森の御神域を護り、役割を終えた御神木で調製した奉賛証をお頒ち致します。



【銅板記入例】



## お問合せ 西宮神社社務所

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17 TEL:0798-33-0321 FAX:0798-33-5355



# 文化研究所だより (十二)

## 『西宮神社文書』第三巻刊行に寄せて

西宮神社文化研究所は本年三月に『西宮神社文書』第三巻(清文堂出版)を刊行しました。当研究所では、歴代の神主が元禄七年(二六九四)から書き綴ってきた社務日誌を活字化し、『西宮神社御社用日記』(同)として第四巻まで刊行しています。

一方の『西宮神社文書』は本吉井家(宮司家)や神社などが所蔵する古文書や古記録類を通して、研究者だけではなく一般の方々にも西宮神社の歴史にふれていただくことを目的としています。第一巻・第二巻は戦災により原本は失われたものの、戦前にペンで筆写された古文書を再編集して刊行しました。そして第三巻は本吉井家が所蔵する古文書の原本三〇〇点余のうち六十六点を取り上げ、内容に即して(社中統制)〈夷願人支配〉(神社経営)〈町政〉〈その他〉に分類しました。

そこで今回収録した古文書から注目すべき史料をいくつか紹介したいと思います。

### (一) 御社中人別之扣【史料番号A一八】

この史料は安永五、六年(七七六、七七七)における西宮神社の神主吉井家と社家東向家の人々をすべて列挙し、大坂町奉行所に提出したもので、名前や続柄が詳しく記されています。社務日記や神社関係の文書に、神職の家族、特に妻子の個人名が出てくる

ことは非常にまれなので、大変興味深い史料といえます。なお当時吉井東向両家は神社から少し北の社家町に居住していました。

また家族以外にも主家に雇われて雑用を担う「下男下女」や「別家下人」と称された人々も出ています。恐らく前者は主家の家族と同居しており、後者は主家の近くに家族で生活していたと考えられ、彼らの名前も明記されています。西宮神社はそうした下人たちも含めて「御社中」を形作っており、日常の様々な営みをおくっていたことがうかがえます。

### (二) 浅草市日記【史料番号C四】

西宮神社は諸国でえびす神像札(御神影札)を頒布する人々(えびす願人)を支配し、彼らから役銭を徴収して社殿の修理費に充てる権利を江戸幕府から認められていました。戦国時代末期に社領のほとんどを失った西宮神社にとって、修理費の捻出は悩みの種でした。従って配札地域を拡げていくことは西宮えびすの信仰圏を大きくする宗教的な側面に加え、社頭の管理維持という現実的な側面からも切実な問題でした。

そうした状況下にあつて元禄元年(二六八八)十二月十八日に、江戸の名刹、浅草寺で初めて大きな頒布が行われました。「浅草市日記」はその時の収入や支出に関する事項をまとめた史料です。

そもそも毎年十二月十七、十八日は浅草寺境内で「歳の市」が開かれ、正月用の品物を求める買い物客でにぎわっていました。当然神社もそれを見越して頒布を企画したわけで、用意した御神影札は実に四四三三枚。これは普段神社が二年で刷る二倍以上の枚数でした。

残念ながら完売には至りませんでした。二四六枚が売れたらしく、それなりの収入となったようです。

またこの日の御神影札は江戸で印刷されましたが、版木の作成や印刷自体は「本や清兵衛」に依頼したことが分かります。この人物は「好色二代男」や「日本永代蔵」等の著作で有名な井原西鶴の出版に関わった江戸日本橋の書肆、方屋清兵衛の可能性があります。ちに万屋は江戸出版界で広く知られる存在となりますが、元禄初期の活動は分かっていることが多いため、江戸出版史研究の面でも興味深い史料といえます。

なお浅草寺での御神影札頒布は十八世紀後半に途絶えましたが、令和元年(二〇一九)から浅草寺東隣りの浅草神社で頒布が復活しました。

### (三) 諸用願書扣【史料番号D一三】

「西宮神社文書」の面白味の二つは、神社とは直接関係ない史料も含まれている点にあり、代表的なものが「諸用願書扣」です。神社に近い社家町の町政に関する文書の控えが多数収録されています。特に町内で養子縁組や婚姻、離縁、引越等があった場合に町役人が作成した願書が最も多く、町内の火消し人足割の覚書や家屋敷の質入証文もあります。こうした控え帳を本吉井家が所蔵していたのは、彼らが社家町の有力な住人だったからかもしれませんが、願書類を通して当時の西宮町人の動向を垣間見ることができそうです。

この他にも本巻には色々な史料を収録しています。巻末には収録した古文書全点の解説を付けていますので、是非一度手に取って頂きますと幸いです。

(西宮神社文化研究所主任研究員 戸田靖久)



文化事業案内  
えびす

今年も開催!

# 第3回 えびすフォトコンテスト

## 「わたしと祭り」

主催/西宮神社

応募期間/令和5年6月1日(木)~8月31日(木)まで



神社・えびすさまを身近に感じ、親しみを持って頂く為、また魅力を再発見して頂く為に令和三年から、えびすフォトコンテストを開催しています。

第三回のテーマは「わたしと祭り」ということで、熱気の溢れるお祭りから厳粛なお祭り、お祭りの美しい光景や微笑ましい一瞬など、日本全国の「祭り」の魅力が伝わる写真を募集致します。皆様からのご応募をお待ちしております。



第3回えびすフォトコンテスト  
「わたしと祭り」の募集を開始しております

テーマ	「わたしと祭り」
応募資格	どなたでもご応募頂けます。 (日本在住の方に限る)
応募期間	令和5年6月1日(木)~ 令和5年8月31日(木)まで
応募方法	Instagramへの投稿、 現像写真の送付 ※人物・動物・風景・構築物など ジャンルは問いません。
受賞発表	令和5年10月1日(日) 当社公式ホームページにて 発表致します。

- ・主催 西宮神社
- ・協賛 いぬづか写真室、  
(株)シュゼット・ホールディングス、  
辰馬本家酒造(株)、  
長崎写真場、阪神米穀(株)

※詳細は西宮神社公式ホームページをご覧ください。  
<https://nishinomiya-ebisu.com>

令和5年3月25日(土)3年ぶりに開催!



『西宮神社えびすの森  
春休み子ども観察会』

西宮神社境内のえびすの森は、兵庫県より天然記念物に指定されている貴重な森

です。この市街地に残された貴重な自然を保全し、後世に残していく試みの一環として「西宮神社えびすの森 春休み子ども観察会」が開催されました。



3年ぶりの開催となる今回は12名の子どもたちにご参加頂きました。

神戸大学農学部教授の石井弘明先生の指導のもと、普段立ち入ることの出来ない「えびすの森」に実際に入り、樹木の観察や計測、葉っぱの採取などを行いました。

午後からは、森で採取した葉っぱを使い神経衰弱やかるたなどのゲームをし、皆さん「えびすの森」で自然の大切さを楽しみながら学ぶことが出来ました。

裏千家 千玄室大宗匠  
満百歳のご奉仕



令和五年四月十九日午前十時より裏千家十五代家元千玄室大宗匠奉仕による献茶式が厳かに執り行われました。雨儀により本殿でお茶を点てられ、淡交会阪神・神戸支部の茶人約三百四十名の参列のもと、薄茶・濃茶の二碗をご神前に捧げられました。式の後には、新型コロナウイルスの影響で中止されていたお茶会が四年ぶりに開かれました。

毎年四月十九日、大宗匠のお誕生日にご献茶を頂いており、今年は満百歳のお祝いのお誕生日を迎えられました。

また茶の湯文化を象徴する「和敬の心」という言葉を自ら書き入れた絵馬をご奉納頂きました。今後もお元気で益々のご活躍をお祈り致します。

『阪神タイガース必勝祈願祭』



球 春を間近に控えた令和5年3月2日(木)午前10時より阪神タイガースの必勝と球団の繁盛を願って恒例の必勝祈願祭が執り行われました。

午前9時半頃、監督・選手らに乗せたバスが神社に到着する頃には、境内には300名以上のファンや報道陣が集まっていました。六甲おろしが境内に響き渡るなか、今年は4年ぶりに選手全員が揃って参拝されました。

阪神タイガースの今後の益々のご活躍をお祈り致します。



# 子ども相撲大会 参加者募集

えびすさまの荒魂をお祀りする

沖惠美酒(あらえびす)神社。毎年例祭日(七月十日)直前の日曜日にお子様の健やかな成長を願う「子ども相撲大会」を奉納致します。

コロナ禍で中止を

しておりましたが、本年は四年ぶりの開催となります。

保育園児から小学生まで男女問わず募集していますので、皆様のご参加お待ちしております。

- 【競技方法】 年齢別に分かれてのトーナメント戦
- 【実施日時】 令和5年7月9日(日)  
幼稚園・保育園の部 午前9時開始  
小学生の部 午後12時45分開始
- 【応募資格】 ●一般の部  
幼稚園・保育園児(男子・女子)  
小学校1~6年生(男子・女子)  
●経験者の部  
小学校1~6年生(男子)
- 【応募方法】 社務所受付にて申込用紙をご用意しております。  
(6月30日締切り)

※当日雨天の場合は中止致します。



発行/西宮神社 〒662-0974 兵庫県西宮市社家町1-17 電話0798-33-0321 FAX0798-33-0320  
西宮えびす 令和五年夏号(通巻第五十九号) 令和五年六月一日 発行



こんどの七五三は  
しっかりオシャレして  
えびすさまに  
お参りしましょ♪

衣装・お着付け・大切なお祝いの一日は西宮神社会館にすべておまかせ。



七五三パック ¥36,000

衣装・着付け・写真(一式)

お母様のヘアセット・着付・前撮り・スナップ写真も承ります。

## 七五三衣裳の展示ご予約会

6/24(土)・6/25(日) 7/8(土)・7/9(日)  
8/26(土)・8/27(日) 9/9(土)・9/10(日)  
9/30(土)・10/1(日)

受付開始: 令和5年6月1日(木)から

info@jinjakaikan.com 西宮神社会館 ☎(0798)23-3311

西宮神社  
公式ホームページで最新情報を  
公式Instagramも開設!  
ご覧ください。



西宮神社  
公式サイト



西宮神社  
公式Instagram

西宮神社 公式サイト 検索  
https://nishinomiya-ebisu.com

五月八日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが二類相当から五類に移行され、各地で賑わいが戻ってきているように感じます。当社でも本号で特集した夏えびすや六月のおこしや祭、九月の例祭渡御祭など賑わいを戻して盛大に斎行すべく現在準備を進めておりますので、是非ご参列頂ければ幸いです。

また「令和の本殿御屋根葺替事業」も順次進めており、現在は境内整備として昭和四十九年に建設された約五十年が経過しておりました駐車場トイレ改修工事を進めております。工事は本年の十二月頃竣工予定となっておりますのでご迷惑おかけしますが、ご理解の程宜しくお願い致します。

引き続き本殿御屋根葺替事業につきましても変わらぬ皆様のご支援ご協力宜しくお願い致します。



編集室から

編集/文化課 印刷/小西印刷所